

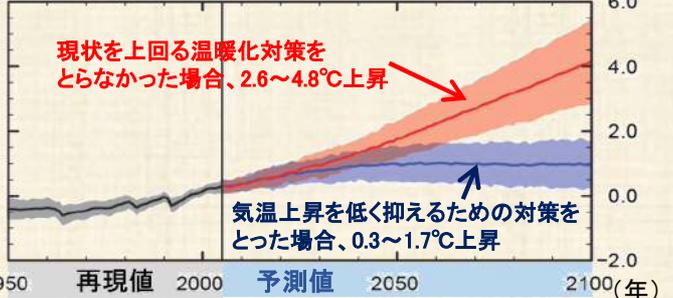
1 気候変動適応とは？

近年、気温の上昇、大雨の頻度の増加や、農作物の品質低下、熱中症リスクの増加など、気候変動及びその影響がすでに現れています。今後、気候変動の進行に伴い、猛暑や大雨等のリスクは、更に高まることが予測されています。



世界の平均気温の変化の予測

（1986年～2005年を基準とした21世紀末の変化）（°C）



出典：気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第5次評価報告書

これら気候変動に対処し、生命・財産を将来にわたって守るためには、温室効果ガスの排出削減に全力で取り組むとともに、気候変動への「適応」も重要です。

気候変動への適応とは、現在生じている、また将来予測される気候変動による被害の回避・軽減等を図ることを言います。

2 神奈川県気候変動適応センターの取組

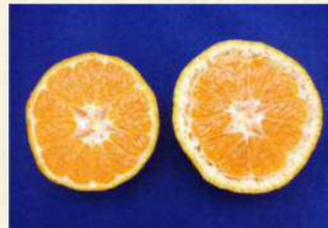
気候変動の影響は、産業や社会的状況など、地域ごとに異なるため、県では、気候変動適応法に基づき、「神奈川県気候変動適応センター」を県環境科学センターに設置し、気候変動の影響及び適応に関する情報を収集・整理、分析し、発信していきます。

(1) 情報収集・整理

- ・気候等の実態に関する情報
（例：年平均気温、強雨頻度等）
- ・気候変動の影響が考えられる情報
（例：熱中症救急搬送者数）
- ・気候等の将来予測（例：気温上昇、降水量等）
- ・地域における適応の優良事例

【例】神奈川県における適応策調査研究事例

温州みかんの浮皮軽減技術 暖海性魚種の種苗生産技術開発



出典：農業技術センターニュース 第33号(2019年3月)

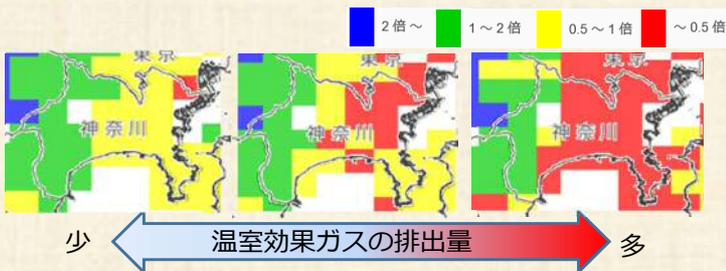


出典：水産技術センターコラム No.13(2018年3月2日)

(2) 分析

- ・気候変動影響予測（例：農作物への影響や河川流量等）

【例】21世紀末のコメ収量（品質を重視した場合）



出典：環境省温暖化影響評価・適応政策に関する総合的研究(2010～2014)

(3) 収集、分析した情報の発信

- ・ホームページによる情報発信
- ・県民向け講座の開催

【例】県民向け講座



「気候変動の影響と適応～どう伝える？実践編～」

神奈川県気候変動適応センターでは、地域や事業所の皆様、大学等研究機関、市町村など、幅広い方々から、気候変動の影響やその適応に関する情報を収集・整理、分析し、発信していきますので、御協力くださいますようお願いいたします。

問合せ先：神奈川県環境科学センター 環境活動推進課 ☎ (0463) 24-3311 内線 253